

1月号 こぶし便り

Vol 136

〒068-0833

岩見沢市志文町301番地 こぶし

TEL: 0126-23-1115

FAX: 0126-23-1327

12月末現在
沢山のご協力に感謝いたします。
リングブル 現在 2.070キロ
(車椅子交換まで
あと 10キロ!)

2月2日 節分祭
2月7日 華道クラブ
2月21日 茶道クラブ

新年のご挨拶



社会福祉法人クピド・フェア
理事長 吉田 栄 次

平成三〇年の新年、明けましておめでとうございます。

平成という元号が、一年を通して幸福な時間を思い続けることが出来る仕上げの大事な年になりそうです。

いつも「こぶし」でお過ごしいただいております皆様とご家族の皆様の本年が幸多き年でありますこと格別な思いで心よりお祈りいたします。

昨年は、クピド・フェアが地域の皆様、利用者の皆様・職員の皆の思いに支えられて五〇周年のキーワードであります「原点を目指す」「皆で笑い合う」その為の未来計画の骨子を作ることが出来ました。

そうしたことを進める中で時代が変わり、文化が変化し、世界が変化を続けておりますが最も大事な物は変わっていないことを強く感じさせられた年でもありました。

昨年四月、二〇戸のコミュニティ住宅「イランカラフテ」が岩見沢市の大きなご支援をいただいて完成し、障害をお持ちの皆さんはじめ住人の皆さんの笑顔の暮らしが始まりました。「イランカラフテ」はアイヌ語で「こんにちは」を意味します。

「こぶし」では、人間一人一人を尊重し優しく寄り添う、ユマニチュードというテーマに積極的に取り組み、クピド・フェアの施設づくりの基本とさせていただいておりますが、福祉の最も確かな表現は「愛あるこんにちは」。

この「愛あるこんにちは」こそ、クピド・フェアの変化しない大事なあり方として進んでまいります。

昨年から今年へと雪の多い岩見沢ですが、だからこそ待ち遠しい、希望に胸膨らむ北海道。一緒に「こぶし」の花々が咲き誇る春を目指して笑顔を増やしてまいります。

今、福祉施設を目指す人たちが少なくなっておりますがクピド・フェア「こぶし」の職員は皆全力で利用者の皆様の幸せ支援に向かって元気に頑張っております。

「こぶし」でお過ごし頂いている皆様やご家族の皆様におかれましては笑顔多い年でありますことを重ねてご祈念申し上げます、新しい年のご挨拶とさせていただきます。

新規入所利用者様紹介



1-1
櫻岡 潔様 87歳



1-3
藤本 愛子様 91歳



1-3
佐藤はるの様 90歳



2-1
桑野 キミ様 95歳

4つの時代を生きて

加藤冬さん106歳に

1月11日、こぶし最高齢で唯一の明治生まれであります加藤冬さんが106歳の誕生日を迎えられました。加藤さんは明治45年、雨竜町(当時雨竜村)にて後藤家の長女として誕生少女時代を雨竜で過ごします。結婚後は北村へ移り、98歳までの長い時をこの地で生活されました。長生きする為にしてきた事は「歩くことです」という加藤さん。北村時代には北村から岩見沢まで歩いて行かれていたとか…(実話です)



大正元年撮影0歳 昭和8年撮影22歳

茶寿(数え108歳)まであと1年。明治・大正・昭和・平成を超えて、5つ目の元号を迎えようとしている今もますますお元気な加藤さん。長寿日本一を目指して下さい!!

平成29年 クリスマス&忘年会

1階

12日



曲目
 <赤組>
 年下の男の子
 恋のバカンス
 <白組>
 二人は若い
 マツケンサンバ

プチものまね紅白歌合戦！！
 勝者は・・・紅組でした！
 ですが、どちらのチームも素晴らしく
 会場を盛り上げてくれました♪

2Fのテーマは
 「必笑(ひっしょう)」でした。
 上野様の大正琴演奏
 カラオケでは遠藤様、藤崎様が
 熱唱！
 最後は2F職員によるよさこい
 ソーラン踊りで大いに盛り上がり
 ました！

2F
 13日



3階 11日

3階は「笑いはひとの薬なり」
 というテーマのもと忘年会を行
 いました！
 美味しい料理や職員による聖歌
 隊の合唱、サンタさんからのプレ
 ゼントなどに皆様笑顔満開で喜ん
 でくださいました！

